

公益財団法人 檜の芽会 御中

伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

| | | | |
|---------|--|------------------|-----|
| 【団体の概要】 | ①作成日 | 令和 6 年 3 月 1 0 日 | |
| ②法人・団体名 | NPO 法人栃木県子ども応援なないろ | | |
| ③所在地 | 〒321-0941 栃木県宇都宮市東今泉 2 丁目 3 番 3 0 グリーンハイツ 2 - 106 | | |
| ④責任者氏名 | 皆川純子 | (役職名等) | 理事長 |
| ⑤担当者氏名 | 皆川純子 | (役職名等) | 理事長 |

| | | | | | | |
|-----------|----------------------------|---------|-------|-------|----------|---|
| 【奨学活動の概要】 | ⑥助成交付決定番号 | R05-012 | ⑦助成金額 | 50 万円 | ⑧申請カテゴリー | C |
| ⑨奨学活動名 | なないろこどもの学習支援事業 | | | | | |
| ⑩主な実施場所 | 宇都宮市コミュニティ施設陽東地域コミュニティセンター | | | | | |

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

【活動の目的】 こどもの未来を創るお手伝いをする

【活動内容】 なないろ学習支援陽東教室（有料の塾に通っていない小学生から高校生を対象とした無料の学習教室）・毎週水曜日 18 時-20 時

【参加人数】 ⑫に記載

【活動成果】 教室の基盤、文化をつくることができました（生徒数の安定と増加、学習支援員（ボランティアメンバー）の安定と増加）

【購入した主な物品】 iPad、プリンター、プリンターインク、紙コップ、紙皿など

【活動から得られたもの】 生徒さんと学習支援員の信頼関係の構築、学習支援員のよりよい教室をつくる意識

【反省点】 生徒数が目標の 10 人に満たなかった

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

| 支援対象 | 延べ人数 (A：人) | 平均時間 (B：時間) | 活動量 (A x B) | 備考・補足 |
|--------|---------------|----------------|----------------|-----------|
| 中学生等 | 152 | 2 | 304 | |
| 高校生等 | 10 | 2 | 20 | |
| 大学生等 | 0 | 0 | 0 | |
| 学習支援員等 | 83 | 2 | 166 | |
| その他 | 27 | 3 | 81 | 見守り役（社会人） |
| 合 計 | | | 571 | |

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 5 年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：なないろ学習支援陽東教室

法人・団体名：NPO 法人栃木県子ども応援なないろ

作成者 氏名：皆川純子

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

【目的】 貧困の連鎖を止められるのは教育でしかないという考えに基づき、有料の学習塾に通うことが難しい中学生を対象とした無料の学習支援教室を開校いたしました。魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えることを目的とし、運営しております。

【内容】 教室が借りられない時、祝祭日、天候悪化時以外毎週水曜日 18 時～20 時、陽東地域コミュニティセンターで開催しております。生徒さん 6 名に対し学習支援員 1～6 名、見守り 1 名の体制です。

・参加人数：現在は中学 2 年生 2 名、中学 3 年生 3 名、高校 1 年生 1 名の計 6 名の生徒さんが毎週参加しております。その内 4 名は開校してから 1 年間継続して通ってくれております。

2. 実施した奨学活動の詳細

活動内容の詳細（写真や図表を用いてご説明ください。）

【参加人数】 様式 3-1⑫の通り

【周知方法や協力いただいた関係者】 陽東中学校・泉が丘中学校・鬼怒中学校・陽東地域コミュニティセンター

【地域やボランティア活動との連携】 峰地域社会福祉協議会

【ボランティア募集協力】 宇都宮市社会福祉協議会ボランティアセンター・とちぎボランティア N P O センターぽぽら・宇都宮市まちづくりセンターまちぴあ

【学習支援員について】 様式 3-1⑫の通り

【購入した機材・物品の写真（助成表示用シールの貼付）】

プリンター

iPad 一式



消しゴムのカス掃除機



折り畳みコンテナ



ニュースラック



書類保管 BOX



【イベントの様子】

ハロウィン



クリスマス



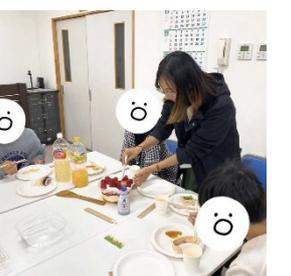
書初め・バレンタイン



ピザパーティー



卒業パーティー



3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

【反省点】周知不足：近隣の学校への周知はできていたが、今後はもう一步踏み込んで、PTAや地域協議会、民生委員さんとの連携を強化いたします。

【課題】生徒数を増やす：生徒数最大 20 名を目指し、現在の生徒数 6 名を 10 名まで増やしたいと考え、行動いたします。

【今後の発展性】フリースクール開校：学習支援教室でのノウハウをもとに学校復帰を目的とし学習に特化したフリースクールを開校します。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

【エピソード】

①ミニキャリア教育：大学生の学習支援員に毎月 1 回ミニキャリア教育を行っていただいております。

内容は生徒さんと年齢の近い学習支援員が「どんな中学生だったか」「なぜ今この大学でこの勉強をしているのか」「将来の夢」などについて語ります。身近なロールモデルとして未来を創るお手伝いができるきっかけになるといいなと始めましたが、生徒さんから大変好評で、学習支援員との親睦が深まりました。

②学習支援員の循環：大学生の支援員が中学生の生徒に「高校生や大学生になったら、君もこの教室で学習支援員になってね」と言ったところ「僕にできるかな」とニコニコしていたとのことです。学習支援教室を通して地域の担い手の育成ができたらと考えております。

③おやつ支援：学習支援の開催曜日と同日の夕方に食の支援を行っており、そこで余ったパン類を学習支援の生徒さんにも配布しております。当会の食の支援の対象年齢が幼稚園児～大学院生までのため、学習支援員の大学生含め、全員で「せーの」で食べたいものを指さすという選び方をしており、食べたいものが同じだった時の譲り合いや話し合いなどが見られます。

④イベント：助成金でハロウィン、クリスマス、バレンタイン、卒業パーティーと季節のイベント時にピザやお寿司、お菓子を購入し生徒さん、学習支援員みんなで食べる機会を設けることができました。生徒さん同士も話が弾んで楽しい時間を過ごしております。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）